

【要旨】

オンライン家族支援活動の可能性と課題
- 「ファミリーサポート・かれっじ」を通して -

What We Can Learn from the Family Support College
木下城康（道科研）

【概要】

報告者は2013年からモラロジー研究所およびモラロジー関連団体の女性活動および家庭教育支援活動に携わってきた。本報告では、2019年にモラロジー研究所家庭教育課が報告したモラロジー関連団体の子育てサークルの実態調査報告を受けて、2021年度に同・家庭教育課が実施した「ファミリーサポート・かれっじ」（全6回）を通してみてきた当該団体群のニーズと傾向、そして参加者の声から今後の活動展開の可能性について発表した。

なお、家庭教育課では2021年度から女性活動および家庭教育支援を「家族支援活動（ファミリーサポート）」と呼称し「同・かれっじ」は、その活動のリーダー育成を目指して開講された。初年度はオンライン・サークルの立ち上げ支援を行っている。

キーワード：インフォーマル教育、オンラインによるインストラクショナル・デザイン、パフォーマンスとしての活動

1. 日 程：2022年3月16日（水）13時から15時（最長15時30分）
2. 開催方法：Zoomによる
3. 時程案：
 - 13：00（5） 開会挨拶（江島・藤井）
 - 13：05（5） 趣旨・進行の説明（木下）
 - 13：10（40） 報告①「オンライン家族支援活動の可能性と課題」（木下）
 - 13：55（10） 休憩
 - 14：05（50） 報告②③「事例：参加者の声（録画）」
 - ②「道経一体の視点から家計の見直しサークルを立ち上げたい」
 - ③「子育て講演会を契機に継続的な勉強会を開きたい」
 - 14：55（5） 質疑
 - 15：00 閉会挨拶（木下）
 - 15：30（30） 自由懇談（任意）